

# STOP！火災

## リチウムイオン電池関連の火災に注意！

近年、私たちの生活に欠かせないものとして、繰り返し充電をして使用できるリチウムイオン電池搭載製品が普及しており、生活はより便利になっています。

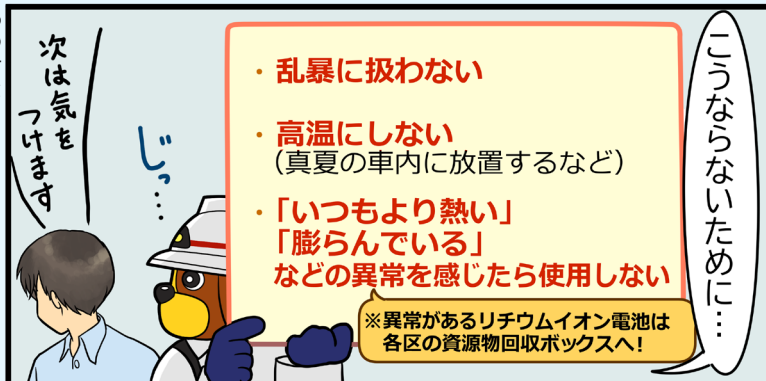
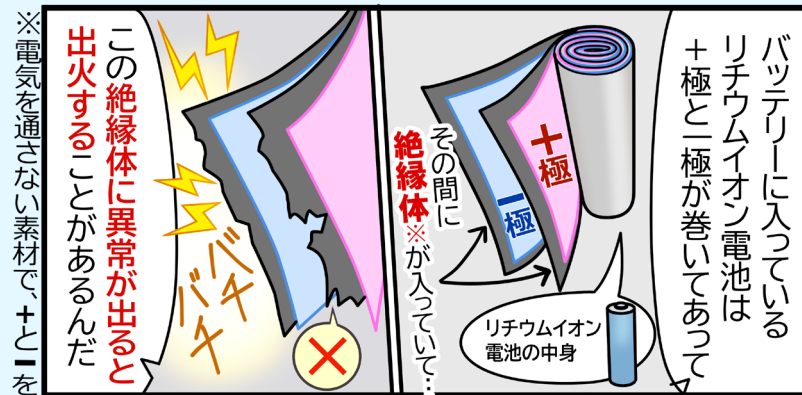
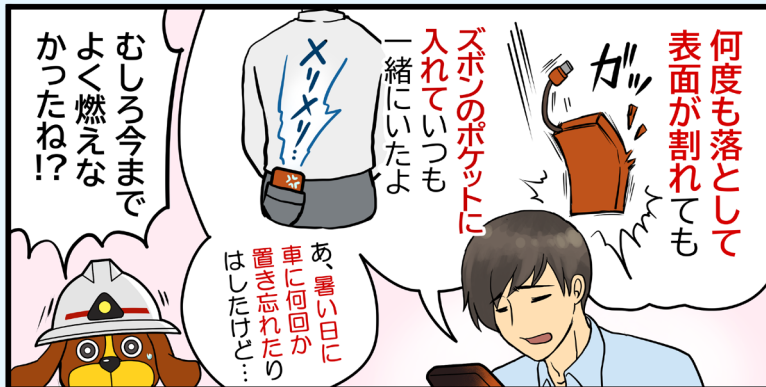
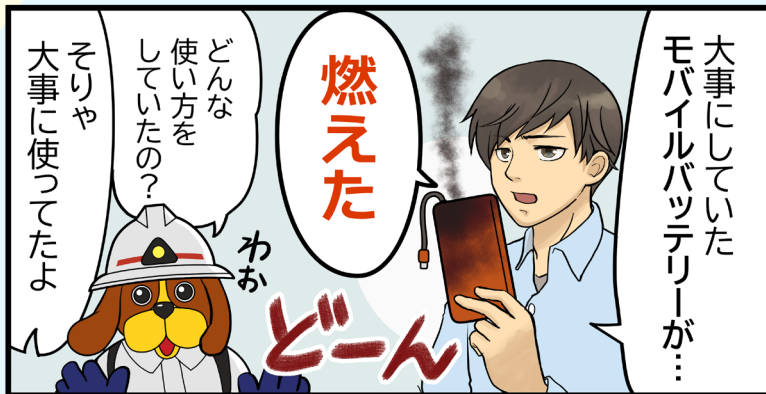
しかし、その一方で、**リチウムイオン電池搭載製品から出火する火災が年々増加**しています！

総務省消防庁の調査結果によれば、出火原因は、製品によって異なり、

- ◆モバイルバッテリーは外部衝撃・高温下での使用
- ◆電気工具は非純正バッテリーの使用
- ◆携帯電話機は外部衝撃・分解が多くなっています。

福岡市では、**電気機器の火災件数は10年前と比べて4倍以上**に増えており、令和7年中の電気機器による火災件数39件のうち、18件がリチウムイオン電池関連によるものです。

また、経済産業省のホームページによれば、「安価で入手しやすい『**非純正バッテリー**』で火災を伴う事故が多く発生」しており、**極端に低価格なもの等にはリスクが潜んでいる**ことを示唆しています。





※周囲のものに水をかけてもよい。ただし絶対に無理はしないで！

## ▼もしも…モバイルバッテリーが燃えたら！

### 通報

**119番通報**をしましょう！  
まずは「**住所から**」伝えるようにしてください。  
住所（場所）が分かれば、消防隊がすぐに出発できますので、現場到着も早くなります。

### 消火

消火器で消火しましょう。

**消火器がない場合は、大量の水で消火します。**少量の水では不十分であり、さらに激しく燃え出すことがあります。

モバイルバッテリーは、燃え始めると、しばらくの間、激しく炎が噴き出して、その後治まります。

炎が噴き出す勢いが治まったあとに、トンぐ等を使って火傷に気をつけながら、水を張ったバケツ等に丸ごと**水没させて完全に冷却**しましょう。

### 避難

火の勢いが強く、自分で消火できそうになければ、すぐに**安全な場所に避難**してください！

## ▼リチウムイオン電池使用製品の廃棄方法

ごみ袋に入れて廃棄すると、ごみ収集車やごみ処理施設の火災につながる場合がありますので、絶対にやめましょう！廃棄する場合は、区役所などに設置している「資源物回収ボックス」、または市内約70か所に設置している「小型電子機器回収ボックス」、「小型充電式電池回収ペール缶」にお持ち込みください。膨張・液漏れ・破損がある場合は、「資源物回収ボックス」のみで受け付けています。

詳しくは、[福岡市環境局のホームページ](#)を確認してください。